



日本慢性期医療協会  
JAPAN ASSOCIATION OF  
MEDICAL AND CARE FACILITIES

令和2年5月29日

# PRESS RELEASE

一般社団法人日本慢性期医療協会

〒162-0067 東京都新宿区富久町 11-5

シャトレ市ヶ谷2階

TEL. 03-3355-3120 info@jamcf.jp

## 介護医療院の開設状況について

日本慢性期医療協会 常任理事

日本介護医療院協会 会長 鈴木龍太

厚生労働省より2020年3月31日現在の介護医療院の開設状況が発表されました。

全国で343施設、21738床が開設されました。開設状況を経時的に表したものがグラフ1です。比較的安定的に増加していることが視えます。

しかし、介護医療院に優先的に移行できる施設は療養病床（そのうち介護療養病床2018年時点で約5万床）、2017年度まで25対1の療養病床だった経過措置病床（2018年時点で約6万床）、介護療養病床から転換した介護療養型老健約9000床が主な対象です。合計するとおよそ12万床になりますが、介護医療院開設2年を経て、いまだに2万床という数字は順調に移行が進んでいるとは言い切れない数字と考えます。

介護医療院開設状況(20.3)



グラフ1

介護医療院 2020年3月31日概数

2020年3月31日まで343施設21738床  
I型230施設(15770床) II型110施設(5968床)

介護療養病床から220施設 介護療養型老健から68施設3016床のみ  
医療療養から75施設 経過措置から25施設1074床のみ  
→①医療に残りたい②介護士よりも看護師を増員するほうが楽だから  
新設4施設(28床 東京都1施設24床新規開設した)  
都市部では総量規制の枠内でも新設許可の可能性はある。

少ない: 宮城0件、宮崎12床、山形18床、三重48床、栃木56床  
多い: 福岡30件2074床、京都10件1795床(急に増加)、  
富山19件1158床、広島12件1039床、静岡12件1025床、  
北海道18件940床、山口15件977床、兵庫11件782床、  
介護療養病床が最も多い東京8件510床

表1

介護医療院の元の施設の内訳をみますと、介護系からの移行が進んでいて、全体の83%を占めています。そのうち介護療養型老健は3016床と、この3か月で58床しか増加しておらず、移行が止まっている状況です。介護療養型老健と比べて、介護医療院の利点が分かりにくいことが原因かもしれません。経過措置の病棟からも1074床と全く移行が進んでいません。経過措置病棟はすでに20対1の医療療養等へ移行した病棟が多く、介護医療院への選択はされなかったと結論できます。

都道府県別にみますと、様々ですが、もともと介護療養病床が多い地区で介護医療院への移行も多く進んでいる傾向があります。全国で最も介護療養病床が多い東京都(約4000床)では3月末時点では510床と移行が進んでおらず、手続きに時間がかかっていることが一つと要因としてあがっていましたが、4月以降1000床を超えたという情報があり、ようやく進み始めたとのことでほっとしています。また東京都では新設が1施設24床増えていますので、介護施設が不足している自治体では新設も認可されているようですので、積極的に申請をしてみても如何でしょうか？

以上